

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030F4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gotos nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部405		
担当教員TEL/Tel	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー/Office hours	要予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。能動的グループ学習を通じ、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学び、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第3回	大教センター教員による演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第9回	グループワーク（1）
第10回	グループワーク（2）
第11回	グループワーク（3）
第12回	グループワーク（4）
第13回	ディスカッション
第14回	レポートの提出、まとめ（講評、総括）
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030F5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	関 : yokoseki nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	関 : 環425		
担当教員TEL / Tel	関 : 819-2736		
担当教員オフィスアワー / Office hours	関 : 木 5 限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第5回	グループ分け,取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/11(月)5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク(5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030F6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹下 貴之 / Takayuki Takeshita		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takeshita nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部450号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2738		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	コロナにくじけず、ウクライナを応援しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	竹下貴之 / 科学技術庁, 文部科学省, 科学技術政策研究所
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介, 本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介, 専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング, グループワーク, ポートフォリオ)
第5回	グループ分け, 取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2(ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/11(月)5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク(5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答), レポートの提出, まとめ(講評, 総括)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030F9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	本庄 萌		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	本庄 萌		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	本庄 萌		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mhonjo nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環426室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	馬越 孝道 / Umakoshi Koudou		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	umakoshi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信して下さい)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部本館2階(環218)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2766		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木・金曜10:00~12:30(その他の時間についてはメールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河本 和明 / Kawamoto Kazuaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazukawa nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環231-2		
担当教員TEL/Tel	095-819-2758		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 啓 / Nakagawa Kei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 啓 / Nakagawa Kei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 啓 / Nakagawa Kei		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kei-naka nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環346		
担当教員TEL/Tel	095-819-2763		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:25-12:45在室時(事前に連絡要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	<p>人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書/Materials	<p>授業の進行に合わせ,必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	asakura nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2760		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があれば随時指示する。 パソコンを持って来ましょう。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	なにかと緊張するかと思います。 大学には朝の会などはありません。 この授業は、朝の会のようなものだと思ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第5回	グループ分け,取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/11(月)5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク(5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	飯間雅文 iima_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	飯間雅文 環238(実験棟2階)		
担当教員TEL/Tel	飯間雅文 095-819-2765		
担当教員オフィスアワー/Office hours	飯間雅文 月曜日 9-12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	<p>人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書/Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	白川誠司: seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	白川誠司居室: 環321		
担当教員TEL/Tel	白川誠司居室: 095-819-2734		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日6校時(17:50-19:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部 of 教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第5回	グループ分け,取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/11(月)5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク(5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202205810030J7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中山 智喜 / Tomoki Nakayama		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nakayama (アット) nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環221号室		
担当教員TEL/Tel	授業の時に確認ください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの決定
第6回	グループワークの開始（1）
第7回	図書館資料収集ガイダンス（オンデマンド）
第8回	グループワーク（2）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（3）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（4）
第13回	【7/11（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（5）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）